

# テンセン

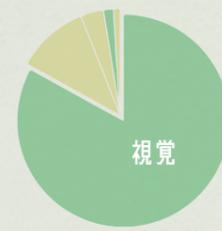
視線で地点をつなぐ建築



## ○五感の共有

... この建築では、五感の共有を行いたい。  
建築において、思想の共有は難しいためである。

- ・ 視覚 約 83%
- ・ 聴覚 約 11%
- ・ 嗅覚 約 3.5%
- ・ 触覚 約 1.5%
- ・ 味覚 約 1%



科学技術振興機構 : www.jstage.jst.go.jp/article/cgst/2012/0/2012\_481039V\_article-char/ja/

また、見るという行為は、人が共有することのできる数少ない感覚である。  
今回は、五感の中でも、視覚に着目していく。

## ○見え過ぎる敷地

... 敷地は、周辺でも特に高い立地である。  
全方向に向かって開けていて、沖縄県の全体を見通せる。



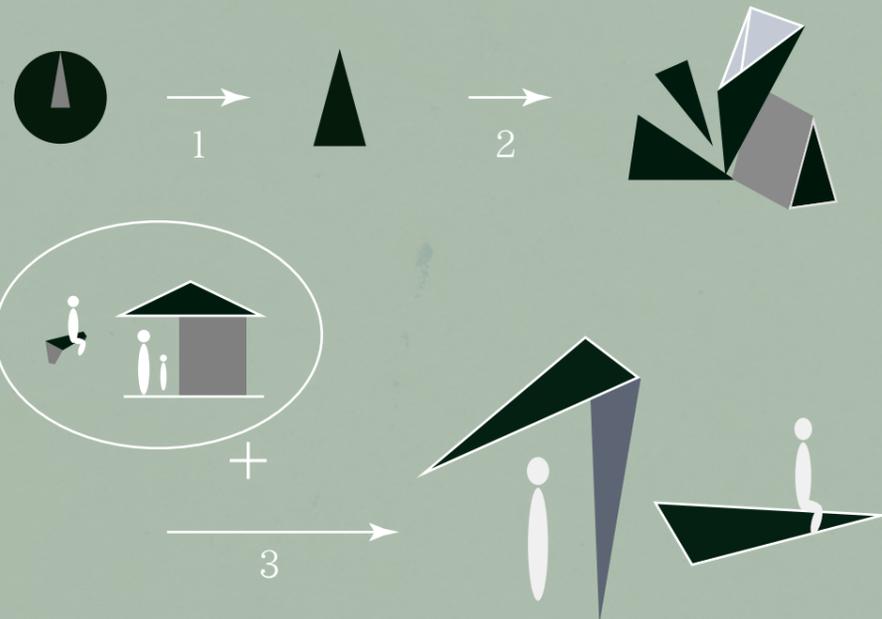
敷地を見た時の景色  
だが、多く見え過ぎていて、視線が定まらない。  
建築で視線の誘導をしていく。

## 建築で視線をコントロールする

そこで、建築により目に見えるものの共有をしたいと考えた。  
人の“見る”という行為に強制力のある建築をつくっていく。

## 視線の誘導から建築をつくる

1. 方向を示す形の検討 ... 方向という平面的なものを立体化していく
2. 配置の検討 ... 過去作品 4 点を指すために角度と重なりをつくる
3. 機能の付与 ... 人の座ったり、腰掛けたり、寄りかかるようなスケールを当てはめていく



北



東



南

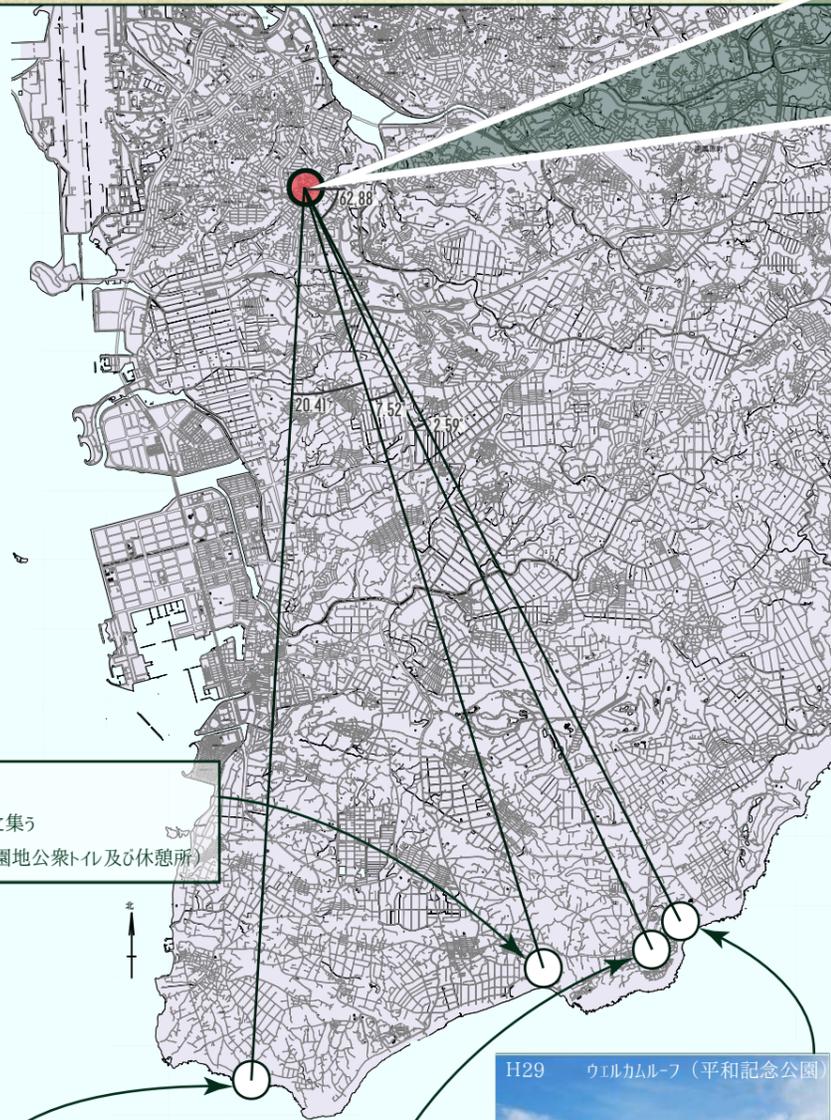


西

視線を誘導させた先には何がある？

- ・ティダフラッグスという企画内での設計であるということ
- ・主なターゲットが、敷地内にある海軍壕を訪れる人だということ

ティダフラッグスの過去受賞 4 作品を指標に選んだ  
いずれも戦争の跡が残る敷地にあるもの



R03  
「路」に集う  
(大度園地公衆トイレ及び休憩所)



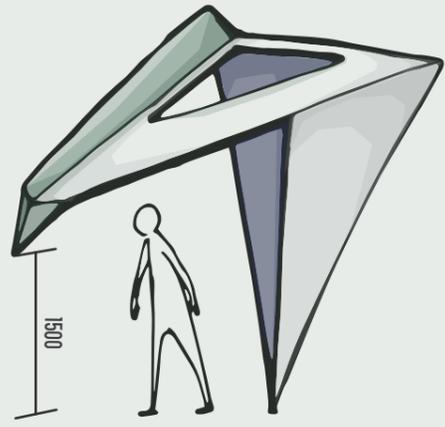
H30 折れ壁の展望礼拝堂 (喜屋武岬)



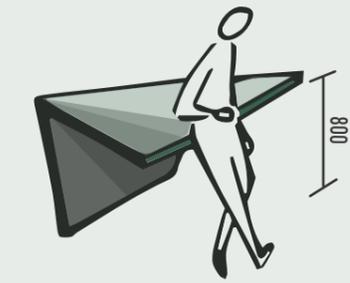
H29 ウェルカムルーフ (平和記念公園)



H28 緑の中の休憩舎 (平和記念公園)



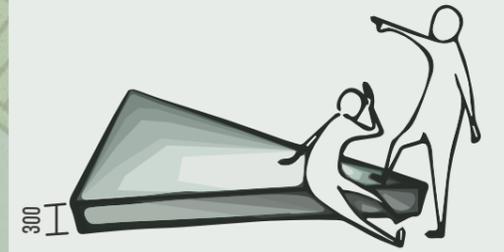
平和記念公園の緑の中の休憩舎を指すのは、  
庇の役割を果たす三角形。  
先端は GL+1500 とし、立っていても座っていても  
視線を誘導される。



大度園地の「路」に集うを指すのは、  
身体を凭せ掛けるのに丁度良い  
高さに位置する三角形



平和記念公園にあるウェルカムルーフ  
を指すのは、先に向かって薄くなる、  
高さ 500 程の三角形



喜屋武岬の折れ壁展望礼拝堂  
を指すのは、誰もが気楽に座れる土間  
を連想させる三角形

施工詳細の検討

〈素材の検討〉

- ・鉄筋 ... 溶融亜鉛メッキや防錆を施したもの。
- ・コンクリート、モルタル仕上げ ... 熱交換塗料を仕上げに使用。
- ・スチール ... 主に屋根部分に採用。黒とし、空に浮かびあがる。

〈構造の検討〉

- ・鉄骨 (S) 構造
- ・キャンティレバー ... 大きく上にかかる部分を片持ちで支える。
- ・風力計算 ... 面が多いため、計算を加える。

〈ディテールの検討〉

- ・三角の角 ... 安全面に考慮し、三角形の角は小さなカーブとする。
- ・水勾配 ... 三角形に折れ線を入れて、水の道をつくる。
- ・表面塗装 ... 汚れの落ちやすい塗装で仕上げていく。

建築物としての存在意義

座るためのベンチ や、雨を避けるための屋根 など、機能面ありきの建築は  
しばしば人に使われていない時、意味のない物になってしまう。

- ・方向を指すという象形化を行う
- ・見た目の軽さや線の強弱をだして、オブジェとして成立させる

今回は、以上の操作を行うことで、  
常に存在意義を失わない建築  
というものを目指した。